

東日本大震災対策室から

2011年4月26日

「ですから、私たちは、機会のあるたびに、すべての人に対して、特に信仰の家族の人たちに善を行いましょう。」(ガラテヤ 6:10)

震災発生後、1か月を越え、状況も変わって参りました。インマヌエルの被災教会では、不自由ながら礼拝を守っておられます。現在の状況についてはインマヌエルのホームページとともに、『教報』5月号をご覧ください。

先週、4月19日午後、教団本部で第2回目の災害対策室会議(担当者3名の他、竿代代表、藤本国内局長、熊谷経理部長が出席)を開催しました。現在の状況の確認と、私たちの教団としての対応、そして皆様方からお送り頂いた貴い義援金についての検討がなされました。

1. 「震災義援金」の中間報告と、第1次配分について。

お送り頂きました義援金は、お知らせいたしましたように、被災された教団の教会の支援と、家屋の被害を受けられた教会員のご家庭の支援に用いられます。

4月12日現在、国内37教会より38口、国外2団体より合計6,093,408円が献げられています。教区単位でお献げ下さっているところもあります。第1回目として、以下のようにお送りすることといたします。

震災義援金、第1次配分

| 教会名 | 教会支援 | 被災家庭への支援 | |
|------|-------|------------|-----------|
| | | 全壊 (50万円) | 半壊 (25万円) |
| 仙台教会 | 100万円 | 100万円 (2件) | 75万円 (3件) |
| 神栖教会 | 100万円 | 100万円 (2件) | 25万円 (1件) |
| 郡山教会 | 100万円 | | |

※上記、被災家庭は、各被災教会から申告のあった全壊・半壊家屋の家庭です。申告は随時受け付けておりますので、対策室にご連絡ください。

2. 現在までの教会の状況。

▽日々、刻々の変化とともに、目に見える変化の少ない、長期の戦いが始まっています。被災地教会と共に、長い戦いを戦わせて頂きたいと思います。

▽仙台教会のガスは回復しました。ようやくライフ・ラインが開通したのですが、続く余震の影響で、会員のご家庭で、また断水したり、ということが繰り返されています。ガスが開通しても、各家庭では検査、許可を必要としていますので、検査のために数日から数週間待つこともあります。

▽被害を受けた副牧師館、塩釜支部は取り壊しが必要で、合計400万円程が見込まれています。

▽仙台では地域の教会が合同して、5月15日に特別な集会を予定しておられます。震災の影響で場所の変更を余儀なくされました。田中敬康師が責任を負っておられますので、お祈りにお覚え下さい。

▽神栖教会も、応急的な処置が終わりましたが、部分的に断水するなど、依然影響が続いています。

3. ボランティア活動などについて。

▽クラッシュ・ジャパンについては教報をご覧ください。

▽現在、1,700人ほどがクラッシュに登録しておられますが、現実的にはなかなか動きが取れない状態です。

▽JEA とさらに人材的にも協力し、奉仕者や献金等について、よりわかりやすい仕事のマップを作製中です。

整い次第、また情報をお知らせしますが、まずはご登録下さり、待機してください。

▽時期が来ましたら、IGM として JEA と連携してクラッシュにチームを送るなど、具体的な方法を考えています。

▽JEA への献金も始められています。4月15日現在で、109件、約1,794万円が集まっています。IGM も JEA の一員ですから、こちらへも協力させて頂きたいと願っています（「震災義援金」は、前述の通り、教団内の支援に限定して用いられます）。

【ご送金に関して】

牧師・役員・教会会計の皆様

▽教会としての会計の扱いは、収入は「その他の献金」、支出は「他教会支援」となります。

ご送金の際には「義援金」と明記して下さい。手続き等の詳細は経理課にお尋ねください。1年間の期間限定の扱いですので、ご不便をおかけすることもあります。宜しくご理解ください。

主において

東日本大震災対策室

田中 進

植木英次

葛田直毅